

海外研修旅行（イタリア）の報告（第1報）

大塚三雄・木下勝晴・林 文明
森 光弘・山崎秀美

1. はじめに

本学では、人材育成のため毎年夏休み期間中に希望者を募り海外研修旅行を実施している。研修旅行先として過去には、ハワイ、ヨーロッパ、アメリカが選択されていたが、2000年、本学はイタリア国立フェラーリ工業専門学校と提携し学生や教職員の交流をはじめ、多彩な活動を続けていくための一環として、研修旅行先をイタリアとして行われるようになった。

本稿では、2001年に行われたイタリア研修旅行について報告する。

2. 研修旅程

イタリア研修旅行は、提携校であるイタリア国立フェラーリ工業専門学校での研修及びフェラーリ工場の見学を中心とした自動車

に関わる研修と、異国文化に関わる研修をおりまぜながら旅程を検討し立案した。研修旅行の日程は、2001年8月31日（金）～9月7日（金）の6泊8日に決定し旅程の調整を行ったが、研修の中心となる日程の調整が6月中旬まではっきりせず旅程が左右され変更になった為、イタリアに入る飛行機等の予約にも影響がでてしまった。更に、研修場所の都合で、同じ場所に1日あけて2日行かなくてはいけない旅程に余儀なくされ、旅程にロスが発生してしまっただので、もっと早くから旅程を調整していく必要があると考える。表1に、実施された旅程の内容を示す。この旅程は、先に述べたような状況の

表1 イタリア研修旅行実施旅程

日時	移動及び宿泊	食事	旅程内容
8月31日 (金)	名古屋～ミラノ		8:00名古屋空港集合 10:25名古屋空港よりフルトハンザ航空にて出発～15:35 フランクフルト着、17:10 フランクフルト発～18:45 ミラノ・リナテ空港着。夕食(19:45～20:20)、20:30ホテル着
9月1日 (土)	ミラノ泊 Hilton	朝 昼 夜	6:30朝食、7:45集合、8:00ホテル出発 10:40 マラネロに着 11:00、11:05の2班に分けフェラーリ工場見学(約1時間) 昼食(13:10～15:00) 昼食後ミラノへ、到着後自由行動(18:00～22:30)、22:30点呼
2日(日)	ミラノ～ メンドリーシオ ～コモ コモ泊 Hotel Coma	朝 昼 夜	6:30朝食、7:45集合、8:00ホテル出発 8:30市内観光(ドゥオーモ、最後の晩餐、スカラ座、 ヴィトリオ・エマヌエレ2世ギャラリー、 スフォルツェスコ城) 昼食(12:30～13:30) 15:00メンドリーシオ到着 Fox Town 又は周辺散策(15:00～17:00) 18:00ホテル着。夕食(19:30～21:00)
3日(月)	コモ～ アレゼ～ マラネロ～ モデナ モデナ泊 Mini le Ville	朝 昼 夜	6:30朝食、7:45集合、8:00ホテル出発 アルファロメオ博物館見学(9:10～10:00) フェラーリ工場の食堂で昼食(13:00～13:40) フェラーリ工業専門学校研修(14:00～16:10) フェラーリ博物館見学及び工場・学校・博物館周辺の散策 (16:30～18:45) 19:05ホテル着。夕食(19:30～21:00)
4日(火)	モデナ～ フィレンツェ ～ローマ ローマ泊 President	朝 昼 夜	6:00朝食、6:45集合、7:00ホテル出発 9:30 フィレンツェ市内観光(ウフィツィ美術館、ペッキオ橋、 シニョリア広場) 自由行動(11:10～11:50) 昼食(12:00～13:10) ミケランジェロ広場より展望(13:50～14:10) 14:30ローマへ移動。夕食(19:30～21:00) 21:15ホテル到着
5日(水)	ローマ～ ローマ泊 President	朝 昼	7:00朝食、8:15集合、8:30ホテル出発 9:10市内観光(バチカン市国-サンピエトロ大聖堂、 システーナ礼拝堂、コロッセオ、フォロロマーノ(車窓) サンタンジェロ城(車窓)) 昼食(12:30～14:00) 昼食後、自由行動(14:00～21:30)、21:30点呼
6日(木)	ローマ～名古屋	朝	5:00朝食、5:45集合、6:00ホテル出発 8:45ローマ-フィウミチーナ空港よりフルトハンザ航空にて出発～ 10:25 ミューヘン着、11:10 ミューヘン発～12:15 フランクフルト着、 14:05 フランクフルト発～
7日(金)	名古屋着		8:20名古屋空港着、着後解散

中で少しでも研修の内容を充実させる為に検討を行い、イタリア国立フェラーリ工業専門学校をはじめとしてフェラーリ工場の見学、フェラーリ博物館及びアルファロメオ博物館の見学、異国文化に関わる研修では、ミラノ、フィレンツェ、ローマの三都市を周り、ミラノで最後の晩餐を鑑賞、フィレンツェでウフィツィ美術館の見学、ローマにおいては世界最小の独立国家バチカン市国の見学を含めた研修を実施できた。また、フェラーリ工場付近にあるカロツェリアでの研修やテストコース、風洞実験室の見学等を可能に出来れば、学生にとって、今後、更に興味深い研修になると考える。

3. 参加募集

研修旅行の参加者募集に先駆けて、全学生を対象に海外研修旅行に関わる意識調査アンケートを4月下旬のクラスゼミナールの時間に実施し、興味を示す学生の把握を行った。また、研修旅行に対する保護者の方の理解を得るため、4月下旬に保護者に案内を出した。学内では、各教室及び主要建物、受付窓口、相談窓口にポスターを貼り、研修旅行のアピールをしながら、5月中旬より研修旅行の説明会を21回行い、説明会参加者数が46名に達した。しかし、最終的に研修旅行に参加した学生は、募集人数40名に対して34名であったので、できれば、もう少し早めに学生及び保護者に研修旅行の案内ができるとうよかったと考える。

4. 研修旅行風景

研修旅行1日目は、午前8時に名古屋空港へ集合し結団式を行った後、フランクフルトに向け名古屋空港を午前10時25分に出発し、12時間の長いフライトを終えフランクフルトに到着した。フランクフルトで2時間半の待ち時間を経て、ミラノに向けて1時間半のフライトで現地時間の午後6時45分（日本時間午前1時45分）にミラノ・リナーテ空港に到着した。その後、バスにてミラノ市内に移動しイタリアでの初の夕食を食べた後、やっとホテルに到着したのが、午後8時半であった。学生諸君も長旅に疲れている様子だった。

2日目は、自動車に関わる研修のメインでもあるフェラーリ工場を見学する為、バスでミラノより一路マラネロへ向けて2時間40分の移動となった。途中、雨も激しく降っていたが、マラネロに到着した時には晴天になっていた。その後、工場を見学させて頂いたが、学生諸君も興味深く見学していた。フェラーリ工場前での集合写真を写真1に示す。見学後、昼食をとったが、かなり昼食時間（約2時間）が長かったので、学生も日本との習慣の違いをひしひし



写真1

と肌で感じていた。

昼食後、再びミラノに戻り自由研修を予定していたが、途中の交通渋滞もありミラノに到着したのは午後6時と十分な研修時間を取ることができなかった。

3日目は、朝からミラノの市内観光でドゥオーモと呼ばれる巨大な教会を見学したが、日曜ということで丁度ミサが行われており室内はパイプオルガンの音が静かに響いて、とても心落ち着く感じがした。ドゥオーモ前での集合写真を写真2に示す。また、スカラ座、ヴィットリオ・エマヌエレ2世ギャラリー、スフォルツェスコ城の見学及び最後の晚餐の鑑賞と異国の雰囲気はかなり感じ取っているようであった。その後、バスでイタリアとスイスの国境辺りに位置するメンドリーシオまで2時間半かけ移動しスイスの雰囲気を少し味わうことができた。



写真2



写真3

4日目は、ミラノより北部に位置するアレーゼという場所にあるアルファロメオ本社に隣接する4階建てと規模の大きいアルファロメオ博物館を見学しました。館内での様子を写真3に示す。その後、バスでマラネロに向けて3時間かけて移動し、フェラーリ本社食堂での昼食体験、フェラーリ工業専門学校での研修、フェラーリ博物館の見学及び周辺の散策とかなり充実していた。学校前での集合写真を写真4に、博物館前での集合写真を写真5に示す。



写真4



写真5

5日目は、バスでモデナよりフィレンツェへ2時間半かけて移動した。市内にはバスが入れないため途中下車し、そこから20分位かけて市街地まで歩き、ウフィツィ美術館、ベッキオ橋、シニョリア広場などを見学した。街全体が博物館のような感じの場所であった。また、高台にあるミケランジェロ広場からの展望は、映画に出てくる風景ということもあり、スナップ写真をそれぞれに撮っていた。ミケランジェロ広場での様子を写真6に示す。その後、バスでローマまで4時間の移動であったが、朝早かったこともあり殆どの学生は熟睡していた。

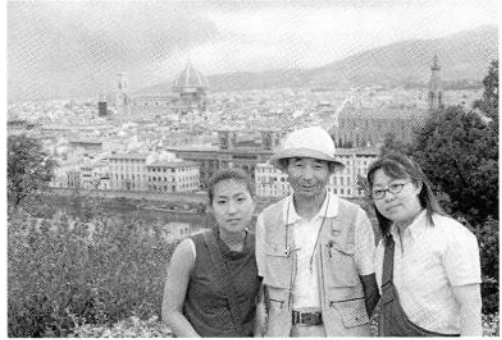


写真6

6日目は、朝からローマの市内観光で独立国



写真7



写真8

家でもあるバチカン市国のサンピエトロ大聖堂、システイーナ礼拝堂の見学、昼食後、自由研修でコロッセオ、真実の口、トレビの泉、スペイン広場等それぞれ思い思いの場所を見学及び散歩できたことで、学生諸君はかなり満足しているようであった。サンピエトロ大聖堂前での集合写真を写真7に、真実の口での様子を写真8に示す。

7日目は、研修旅行も終りに近づき、いよいよ帰路に着くためローマのホテルを午前6時に出発した。朝かなり早かったことと疲れがでたことで、なかなか朝起きれない学生もいた。

8日目は、午前8時20分に名古屋空港に到着し、時差ぼけがあったと思うが、全員元気に家路に向かった。

5. アンケート結果と考察

アンケートは、研修旅行参加者を対象として、研修旅行全般、宿泊ホテル、各研修先等についての感想を5段階評価(5. とても良かった, 4. 良かった, 3. 普通, 2. やや不満, 1. 不満)してもらったものである。その結果を表2に示す。

表2 アンケート結果

5とても良かった 4良かった 3普通 2やや不満 1不満

質問項目	5	率	4	率	3	率	2	率	1	率	合計	
1 イタリア研修旅行全般	16	48%	15	45%	94%	2	6%	0	0%	0	0%	33
2 利用ホテル												
ミラノ(ヒルトン)	18	55%	11	33%	88%	4	12%	0	0%	0	0%	33
コモ(ホテルコモ)	6	18%	6	18%	36%	16	48%	4	12%	1	3%	33
モデナ(ミニレピレ)	9	27%	12	36%	64%	8	24%	3	9%	1	3%	33
ローマ(プレジデント)	11	33%	11	33%	67%	5	15%	6	18%	0	0%	33
3 フェラーリ工場	15	45%	12	36%	82%	5	15%	1	3%	0	0%	33
4 フェラーリ校見学	7	21%	10	30%	52%	13	39%	3	9%	0	0%	33
5 フェラーリ博物館見学	10	30%	14	42%	73%	8	24%	0	0%	1	3%	33
6 アルファロメオ博物館見学	10	30%	13	39%	70%	8	24%	1	3%	1	3%	33
7 移動に利用したバス	17	52%	6	18%	70%	9	27%	1	3%	0	0%	33
8 フォックスタウンでの買い物	7	21%	8	24%	45%	12	36%	5	15%	1	3%	33
9 フェラーリ工場食堂での食事	10	30%	9	27%	58%	12	36%	2	6%	0	0%	33
10 ミラノ市内観光	13	39%	11	33%	73%	9	27%	0	0%	0	0%	33
11 フィレンツェ市内観光	9	27%	13	39%	67%	10	30%	1	3%	0	0%	33
12 ローマ市内観光	13	41%	12	38%	78%	7	22%	0	0%	0	0%	32

このアンケート結果から、自動車に関する研修の中でフェラーリ工場の見学は82%、博物館の見学は70%以上の学生が満足していることがわかる。これは、一般の人が入ることが出来ない場所を見学できたことと、普段見ることができない車を数多く見ることができたことによるものと考えられる。また、異文化に関する研修先も、ミラノが73%、ローマが78%の学生が満足している。これは、日本では見聞し難いことが数多く体験出来たことと、異文化を肌で感じ取れたからだと考えられる。研修旅行全般においては、94%と殆どの学生が満足していることがわかる。今後も、このように研修旅行に対して参加した学生が、魅力を感じ「行って良かった。」と満足してもらうためには、どの学生にも研修旅行中、最低一ヶ所以上は満足できる場所がないと納得してもらえないと考える。よって、研修旅程を立案する段階で偏った研修先の選定にならないように、自動車に関わる研修と異国文化に関わる研修をおりまぜながら旅程を立案し、付加価値のある研修先を見出していく必要があると考える。

6. ま と め

この研修旅行では、多少の問題点はあったが、学生にとって異国での貴重な体験ができたことは、今後、彼らの大きな糧になると思う。なにより、全員がそろって無事に帰国できたことが、一番の成果であった。

最後に、この研修旅行を実施するにあたり多大な協力を頂いた本学の先生方、研修先の調整して頂いた学園本部の蜂須賀先生、学生の引率に協力して頂いた神野愛子女史には、ここに深く感謝の意を表します。